



【学校教育目標】

ふるさとつながり、仲間とともに

“在りたい未来”を創造する広谷っ子の育成

あけましておめでとうございます

始業式の朝、子どもたちはとてもよい表情で登校してきました。口々に「あけましておめでとうございます」と元気にあいさつをしてくれる姿から、どの子も「今年をよい年にしよう」という思いをもって新年を迎えたことが伝わってきました。

子どもたちは、むしろ大人以上に、新しい年の始まりを厳肅なものとして受け止めているのかもしれません。「今年はがんばるぞ」という希望に満ちた気持ちに触れ、私たち教職員も大きな力をもらいました。本年も、子どもたち一人一人の思いを大切にしながら教育活動を進めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



書：北垣教頭

「今日の1日」を大切にすること

3学期の始業式では、今年の干支である「午（うま）」の話を通して、子どもたちに「1日1日の積み重ねの大切さ」について伝えました。

- 「午」という字は、馬を表すとともに、「午前・午後・正午」に使われるよう明るい時間を意味する字でもあります。馬のイメージからは「跳ぶ」「はねる」「駆ける」「走り抜ける」「はたらく」「挑戦する」「力強い」といった姿が思い浮かびます。みなさんにもこんな姿を期待しています。
- 馬と聞くと、速く走る姿を思い浮かべがちですが、競走馬も、最初から速く走れるわけではありません。毎日、ゆっくり歩き、体を動かし、休むことを繰り返しながら、少しづつ力をためていきます。馬は、「今日の1日」を大切に積み重ねることで、走る力を少しづつ身につけていく動物なのです。
- これは日めくりカレンダーです。1日分の紙はとても薄く、1枚だけでは変化は分かりません。しかし、毎日1枚ずつめくり続けると、気がついたときには大きな厚みになります。「今日の1」を365日重ねると「365パワー」になりますが、何もしない「0」を重ねても、いくら日がたっても0のままでです。未来をつくるのは、今日やることが大事。今日の1が大事。今日の1を丁寧に続けていくことです。
- 3学期は1年でいちばん短い学期です。だからこそ、
 - ・今日、あいさつをする
 - ・今日、人の話を最後まで聞く
 - ・今日、誰かの役に立つこうした一つ一つの行動が、確かな成長につながっていきます。これがみんなが成長したり、かしこくなったりしていく仕組みなのだと思います。
- 午年の馬のように、あせらず、でも止まらず。今日という1日を、大切にめくっていきましょう。「未来の自分をつくる今日の一枚」です。



学校と家庭が、ともに子どもたちの「今日の1日」を大切に見守り、積み重ねていくことで、子どもたちの中に確かな力とよろこびが育っていく1年になることを願っています。

全校書き初め大会

今年度は、全校で一斉に書き初め大会を実施しました。全校放送で書き初めの由来や取り組む際の心構えを聞いた後、1・2年生はそれぞれの教室で、3年生以上は体育館に集まり、新年の書に向かいました。体育館や教室に静かな緊張感が広がる中、子どもたちは一字一字に心を込め、真剣な表情で筆を運んでいました。特に、体育館に3年生以上が一堂に会して取り組む様子は壮観で、学年を超えて同じ空間で集中する姿が印象的でした。その姿からは、「新しい年を大切にスタートしよう」という子どもたちの思いが伝わってきて、心に残るよい時間となりました。



今年度、本校で書写の研究に取り組んでいく際、職員の中で何度も話題になったのが、これから子どもたちが生きていく上での「手書き」の意義です。「わくわく伝統文化体験教室」で子どもたちにご指導いただいた書家の細川太翠先生でも、「私も、手書きの機会は確実に減っています。」とおっしゃっていました。

つい先日、NHK「クローズアップ現代」で「手書きのチカラ」と題された特集が放送されました。番組では、研究によって「手で書くことには、考えを整理し、記憶に残し、心を落ち着かせる力がある」ことが明らかになったと紹介されていました。文字を書くという行為は、単に形を写す作業ではなく「何を書こうか」「どんな思いを込めようか」と、自分自身と向き合う時間でもあります。書き初め大会は、まさにその“手書きのチカラ”を全身で感じる学びの場となりました。

一方、本校ではタブレットを活用した学習も積極的に進めています。調べ学習や意見の共有、試行錯誤を重ねる学びにおいて、タブレットは大きな力を発揮します。大切なのは、デジタルか手書きかの二者択一ではなく、それぞれの良さを生かしたバランスなのだと思います。タブレットは「考えを広げる道具」、手書きは「考えを深め、自分の中に落とし込む営み」。この二つを行き来しながら学ぶことが、これから的小学校教育には欠かせないと考えています。

書き初め大会で見られた、静かに集中し、自分の思いを文字に託す子どもたちの姿は、学びの原点を改めて教えてくれました。これからも本校では、手書きとデジタルのよさを生かしながら、子どもたちの「考える力」「感じる力」を育てていきたいと思います。

冬のそうあん賞

冬休みには「そうあんくんの日大作戦」へのご協力、ありがとうございました。年末年始の忙しい時期に、子どもたちも家族の一員として積極的に手伝いに取り組むなどして、深まった家族の絆もあったのではないかと想像します。1・2年生については、毎日そうあんくんの日の取組ができた子に、3~6年生については100ポイントを達成した子に「冬のそうあん賞」を渡します。ご家庭での取組に感謝申し上げるとともに、引き続き「そうあんくんの日」へのご協力をお願いします。



校長室より「広谷っ子ブログ」発信中！

【広谷っ子ブログ】<https://hirotanikocho.blog.fc2.com/>

